

2020.9.22

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

Press Release

アストンマーティンがル・マン 24 時間レースで優勝し、WEC のマニファクチャラーズ・タイトルを獲得

- アストンマーティン・レーシングが第 88 回ル・マン 24 時間レースで優勝
- アレックス・リン/マキシム・マルタン/ハリー・ティンクネル組の 97 号車が GTE Pro クラスで優勝
- GTE Am クラスでは TF Sport が勝利を収め、Vantage GTE でル・マンを制した最初の公式パートナーチームとなる
- アストンマーティンにとって、ダブル・クラス優勝は近年のル・マンで最高の結果
- 今回の勝利によって、アストンマーティンは FIA 世界耐久選手権（WEC）のタイトルを獲得



2020 年 9 月 20 日、ル・マン（フランス）：

アストンマーティンが、第 88 回ル・マン 24 時間レースで優勝しました。同社は、フランスのサルト・サーキットで開催されるこの世界的に有名な耐久レースで、2017 年にも勝利を収めています。今回は、両方の GT クラスで優勝するという最高の結果を残し、3 人のドライバーが表彰台の頂点に登壇しました。今回の勝利により、アストンマーティンは、あと 1 戦を残した状態でランキング 2 位との差を大きく広げ、FIA 世界耐久選手権（WEC）のマニファクチャラーズ・タイトルを獲得しました。



ASTON MARTIN

ワークスドライバーのアレックス・リン（英国）、マキシム・マルタン（ベルギー）、過去にル・マンでクラス優勝の経験があるハリー・ティンクネル（英国）のトリオが 97 号車の Vantage GTE を駆り、24 時間にわたってワークスチームのフェラーリと息を呑むようなスリリングなバトルを展開しながら、完璧なパフォーマンスを見せて勝利を収めました。

日曜日の午前 3 時 10 分に GTE クラスの最速ラップを記録したアレックス・リンは、次のように述べています。「本当に感動的な勝利でした。最終ラップでは涙が溢れてきました。3 年間にわたってこの素晴らしいレーシングカーのステアリングを握り、ハードワークを続けて、多くの汗を流してきました。まさに、信じられないような気分です。」

TF Sport から Vantage GTE で参戦したジョニー・アダム（英国）/チャーリー・イーストウッド（英国）/サリフ・ヨロック（トルコ）組は、GTE Am クラスで優勝し、ドライバーズ・ランキング 1 位の状態で、バーレーン・インターナショナル・サーキットで開催される最終戦に臨みます。TF Sport は、Vantage GTE でル・マンを制した最初のプライベート・チームです。

ニッキー・ティーム（デンマーク）、マルコ・ソーレンセン（デンマーク）に、リチャード・ウエストブルック（英国）が加わった 95 号車は、GTE Pro クラスで 3 位となりました。その結果、このデンマーク人コンビは、GTE Pro クラスのドライバーズ・ランキングで、チームメイトのアレックス・リンとマキシム・マルタンに 15 ポイントの差をつけてトップの座をキープし、ドライバー・タイトル獲得に一步近づきました。

GTE Am クラスでは、長年にわたってアストンマーティンのレーシング・ドライバーを務め、大きな期待とともに 8 度目のル・マンに挑戦したポール・ダラ・ラナ（カナダ）にとって、今回のレースは残念な結果となりました。ダラ・ラナとチームメイトのアウグスト・ファルフス（ブラジル）、ワークスドライバーのロス・ガン（英国）のトリオは、素晴らしいペースを保って一時はクラスのトップを快走していたが、ピットストップで大きくタイムをロスして、優勝の夢は叶いませんでした。

今回のレースでダブル表彰台を獲得したことにより、アストンマーティンは WEC のマニファクチャラーズ・タイトルを初めて獲得しました。2 位のポルシェとの差は 76 ポイント、3 位のフェラーリとの差は 97 ポイントです。

アストンマーティン最高経営責任者（CEO）のトビアス・ムアースは、次のように述べています。「本日、この偉大な勝利を成し遂げた、すべての人々を大変誇りに思います。両方の GTE クラスで優勝し、WEC マニファクチャラーズ・タイトルを獲得できたことは、チームの献身的な作業、Vantage GTE の高い戦闘力に加え、このレースカーのベースとなった市販モデルの Vantage の優れた品質を証明するものです。」



ASTON MARTIN

2020 年のル・マン 24 時間レースにおいて、GT クラスで優勝したアストンマーティンの 97 号車は、13.8km のコースを 346 周しました。GTE クラスの最速ラップを記録したのはアレックス・リンで、タイムは 3 分 50 秒 321 でした。アストンマーティン・レーシング・ドライバーの中で、もっとも長い時間ステアリングを握っていたのは、ニッキー・ティーム（10 時間 2 分 35 秒）でした。

ドライバーのコメント：

アストンマーティン Vantage GTE 97 号車、アレックス・リン（英国）：

「本当に感動的な勝利でした。最終ラップでは涙が溢れてきました。3 年間にわたってこの素晴らしいレーシングカーのステアリングを握り、ハードワークを続けて、多くの汗を流してきました。」

アストンマーティン Vantage GTE 97 号車、マキシム・マルタン（ベルギー）：

「アストンマーティンでル・マンを制することができて、最高の気分です。非常に厳しいレースでした。フェラーリは強く、22 時間以上にわたってバトルを展開していました。ル・マンで優勝することは、特別な意味を持っています。私たちは 2 年間、悪戦苦闘しながらここで学び、マシンを改善し、周到に準備して、ついに優勝することができました。まさに、感動的な瞬間です。アレックスは素晴らしい仕事をしました、ハリーは初めてドライブするマシンで信じられないような走りをしました。そして、チームも完璧でした。」

アストンマーティン Vantage GTE 97 号車、ハリー・ティンクネル（英国）：

「チームの一員としてこの勝利を体験することができ、非常に幸運でした。アストンマーティンと共にル・マンで優勝できて、素晴らしい気分です。ル・マンにおけるアストンマーティンの長い歴史や、自宅で応援してくれた熱狂的なファンの声援を感じることができました。本当に特別な体験です。アストンマーティンの歴史の名を連ねることができて、信じられないような気分です。」

アストンマーティン副社長チーフ・スペシャル・オペレーションズ・オフィサー兼アストンマーティン・レーシング社長デイビッド・キング：

「この 3 年間、チームは新型 Vantage と共にハードワークを続け、最強のライバルを押しつけてル・マンで優勝し、チャンピオンシップのタイトルを獲得することができました。ドライバーとマシンにとって究極のテストと呼ばれるこの耐久レースにおいて、アストンマーティン Vantage が、名うてのライバルを打ち負かすことができたことを、大変誇りに思っています。今年は、このサーキットで、ブランド・パートナーの方々、私たちのお客様やファンの方々をお迎えすることができず大変残念です。それでも、私たちは、皆様のサポートを感じて戦い、暖かいメッセージや声援に本当に感謝しています。」

###



ASTON MARTIN

アストンマーティン・ラゴンドについて:

アストンマーティン・ラゴンドは、エクスクルージブなスポーツカーと SUV の製造を専門とする、ラグジュアリー・オートモーティブ・グループです。アストンマーティン・ブランドは、最先端の技術、卓越したクラフトマンシップ、時代を超越したデザインを融合することにより、Vantage、DB11、Rapid AMR、DBS Superleggera、新型 SUV の DBX といった先駆的なモデルを生み出しています。英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンドは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界 51 か国で販売しています。

ラゴンドは 1899 年に、アストンマーティンは 1913 年に設立されました。この 2 つのブランドは、1947 年にデイヴィッド・ブラウン卿が買収して統合されました。

###

写真データは、メディアサイト (www.astonmartin.com/media) から入手可能です。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

Aston Martin Japan の [Twitter](#) も開設されていますので、併せてご確認ください。

メディア問い合わせ先:

アストンマーティン ジャパン

PR

谷田 恵美

megumi.tanida@astonmartin.com

コスモ・コミュニケーションズ



ASTON MARTIN

アストンマーティン PR チーム

今野 博文

Tel : 03-6434-5839

M : 090-6180-0281

hirofumi_konno@my-z.co.jp

田村 沙智

M : 090-5476-225

Sachi_tamura@my-z.co.jp